

2019年度 大泉名水会 第7回定例委員会議事録

1. 日 時 令和元年 11 月 10 日（日） 午前 10 時～11 時半

2. 場 所 東大泉地区区民館 地下第 2 会議室

3. 出席者

①委員 12 人、顧問 1 名、水道技術管理者 1 名が参加

②参加者は下記の通り（欠席委員は下線）

1 区：町田和昭（広報）、丸山徹雄（会計）

2 区：染田屋茂（広報）、日比野裕二（庶務）

3 区：沖本純子（会計）、根津隆正（副委員長）

4 区：佐藤昭彦（環境）、茂野弘（広報）

5 区：小島周一（委員長）、川津基（環境）

6 区：野田万太郎（副委員長）、高橋章（管理）

7 区：大栗道孝（管理）、安島敬（庶務）

8 区：金本悟（庶務）、岩田建三（庶務）

村松一希（オブザーバー）、水野宏（顧問）、新井さん（技術顧問）

佐藤賢了（事務所長）、田澤穂（水道技術管理）

4. 配布資料

① 定例 2019-7-1：大泉名水会 会計規程（案）

② 定例 2019-7-2：大泉名水会 運営細則（案）

③ 定例 2019-7-3：事務局パソコンの老朽更新と新規購入（案）

④ 定例 2019-7-4：事務所職員募集のお知らせ

⑤ 定例 2019-7-5：名水会存続問題 事業運営の仕組みの見直し（叩かれ台）

5. 決定事項

① 資料 7-1 について 6.2 審議事項①の通り会計規程案が了承された。

② 資料 7-2 について 6.2 審議事項②の通り運営細則案が了承された。

③ 資料 7-3 について 6.2 審議事項③の通り備品購入が了承された。

6. 議事模様

6.1 報告事項

① 佐藤所長が 11 月に退職され、後任は鈴木さんが新所長となる。

鈴木さんは 7 年間事務局業務を担当され、技術、経理にも詳しい。

佐藤所長退職に伴う職員募集についてお知らせがあった（資料 7-4）

② 10/24-25 の配管切替改修工事（工事費 165 万）は無事に完了した。

③ 構内草刈りについては 12/10 定例委員会のと実施する。

6.2 審議事項

① 大泉名水会 会計規程（案）（資料 7-1）

20 年前に銀行や会計業務経験者によって企業会計管理は必要なく、家計簿並みの単式簿記方式で問題ないと整理されている。その方針に沿った会計規程案である。旧規定との主な違いは、事務局と会計委員の役割分担である。これまで本来会計委員が実施すべきことを事務局にお願いしていた部分がある。しかし事務局の高齢化、要員不足等も考慮して本来のあり方に戻したいというのが主旨である。

会計規程案通りに令和 2 年 4 月 1 日から実施することが了承された。なお、管理項目は費用中心なので「勘定費目」として整理する。

② 大泉名水会 運営細則（案）（資料 7-2）

従来 of 運営方法に沿って水野顧問がまとめて下さった下記 3 点の細則案を審議し、本日 11/10 より施行することが了承された。

- ・東京都福祉保健局都が都 HP に発行している「専用水道の管理（H27.9）」を参考にし、安全で衛生的な水の供給を継続していくために必要な管理方法をまとめたものである。
- ・給水装置（配水管分水栓ソケット、公道に埋設の給水管、会員宅地内に設置の量水器・給水管・水栓等）は会員の財産であるが、給配水管網の漏水箇所の検査・発見等の工事及び費用の細則については技術的にも費用的にも会員個人で負担・実施するのは難しい。そこで名水会と会員の工事・費用分担を規定したものである。
- ・水道の品質管理に係る細則については、法定の水質検査データの長期間蓄積・分析・対策実施の業務を計画的に廻していくことを主に規程している。

③ 事務局パソコンの老朽更新と新規購入（案）（資料 7-3）

- ・ Windows 7 サポート終了、給配水管工事図面データの CAD 化を見据えて選定した最適機種 of 購入（設備投資額 43 万円）について審議し、了承された。

6.3 その他

① 名水会存続問題討議

討議資料（7-5）を基に各委員の意見を出し合った。次回に継続討議となった。

② 構内草刈り：12/10 定例委員会を 9 時から実施し、そのあと草刈りを実施する。

以上

（書記：庶務委員 日比野裕二）

（委員長：小島周一）